

令和6年度ダビンチ入試（総合型選抜）スクーリング内容の公表について

最終選考〈情報工学課程〉

日 程	11月4日（土） 午前
プログラム	講義・レポート作成
ね ら い	講義内容の理解および結論の導出過程から、基礎学力、論理的に思考する能力や考えを的確に表現する能力をみる。
要 約	<p>コンピュータを用いた数値計算法について講述した後、レポート課題を提示して総合的な理解力と表現能力を見た。</p> <p>最初に、コンピュータを用いた数値計算の必要性について講述し、次に、連立一次方程式の解法の一つであるガウスの消去法について講述した。その後、別の解法であるヤコビ法について講述した。これらの講義内容を包括するレポート課題を提示し、これに対する解答を求めた。これにより、講義内容の理解力、数学や国語に関する基礎学力、論理的に思考する能力、講義内容をベースとした応用力、考えを的確に表現する能力を評価した。（9時30分から12時00分まで）</p>

日 程	11月4日（土） 午後
プログラム	課題提示・グループディスカッション
ね ら い	提示された課題の中から問題点と解決策を見いだす能力をみる。さらに、集団の中で他人の意見を理解し、協調して意見をまとめ上げる能力をみる。
要 約	<p>学習データを元に新たなコンテンツ（テキスト、画像、動画等）を生成するAI（生成AI）が急速に発展・普及しており、既にビジネスでの活用が開始されている。しかしながら、生成AIから事実とは異なる情報が出力される場合があること、生成物の利用に際した著作権侵害、生成AIに入力した情報の漏洩等、様々な問題が報告されている。講義では、生成AIの例やその問題について説明し、生成AIを社会に役立てるアイデアを提案することを課題とした。グループディスカッションでは、アイデアの発案と共に、社会のどのような場面でどのように役立つのか、生成AIにおけるどのような問題を孕んでいるかを議論させた。また、その問題をどのように回避・解決するのかを任意で議論させた。</p> <p>採点者は、他者の意見に対する理解力、各自の発想力およびその表現能力、および発表能力に関して評価した。さらに、議論を踏まえた課題の最終報告書を作成させ、その内容についても評価した。（13時00分から17時00分まで）</p>